



10月のたより

校長 田口 登志子

すっかり秋らしい心地よい気候となりました。季節もすすみ、学校での教育活動も実のりの時期をむかえています。

9月28日に、小中合同運動会が開催されました。PTA競技綱引きが久し振りに行われ、子どもたちも大喜びで応援していました。ご協力ありがとうございました。幼稚園運動会では10月26日に、元気にがんばる姿を見ていただきました。

今回は10月に行った学部での取組みをご紹介します。中学部では講師をお招きしてSDGSについて学びました。カードゲームをしながら、めざす17のゴールのために、自分たちにできる活動は何かを考えました。持続可能な社会を作るためには、今の子どもたちの力は不可欠です。より良い社会の一員として成長するために、学校での経験を重ねていきたいと思えます。

(発行所)

大阪府立生野聴覚支援学校
〒544-0034
大阪市生野区桃谷1-2-1
TEL 06-6717-3366
FAX 06-6717-5865

小学部では、6年生が広島方面への修学旅行、4・5年生が堺聴覚、中央聴覚の児童と交流を行う三校交流会がありました。三校交流会では本校が会場となり内容を考え、みなさんをお迎えしました。4年生には初めての交流で緊張もあつたかと思えます。これからも互いに切磋琢磨し合える仲間として成長していくことを期待します。中学部では近畿地区聾学校バレー大会が姫路でありました。年齢が進むにつれ、大阪府内から近畿圏へと仲間の輪が広がっていきます。

来年はデフリンピックが東京で開催されます。参加選手を招いてのキャリア講演会も今後予定しています。同じ障がいを持つ先輩たちの活躍を知ること、それぞれ将来への夢や、その実現に向けて努力するきっかけとして欲しいです。学校では遠い将来を見据えて、夢や希望を育てる学びに取組んでいます。



ここからは、運動会の作文を抜粋して紹介します。

九月二十八日土曜日よいよ運動会です。最初はドキドキ不安だったけどがんばりました。楽しかったのは、どこ生野競争です。徒競走で一番になってうれしかったです。おべんどの時間おきに、わださき先生と会いました。とてもうれしかったです。よしと先生も会えました。「アポドロス」をおどりました。ましがえたこともあったけどがんばりました。そう合とくてんは、白組が勝ちました。終わった後つかれました。うれしかったのしかったです。思い出でました。五年生になったらリレーがあります。しっかりれんしゅうするぞ。

「赤組、二百二十点、白組、二百二十四点！ ゆう勝は白組！」

「イエーイ！」

この日、あきらめかけていた白組のゆう勝が実現しうれしかったです。運動会をがんばりすぎたのか、週末はかぜをひきました。何事にも代しようがあるのだなと思えました。

私が一番楽しかった種目はえん技です。なぜかという、今までの練習がむくわれたからです。たくさん練習をして、みんなに良いえん技を見せられました。今年の選曲がアポ

ロドロスで良かったと思つたしゅん間でもありました。おとり方を教えてくれた先生に感謝です。

そんな私ですが、心残りが一つありました。それは、徒競走です。なぜかという、緊張しすぎて思ったより走れなかったからです。徒競走で初めて四位になったので、くやしい気持ちになりました。

つな引きは負けてしまいました。手をすりむいていたかったです。がんばりすぎない方が良かったと思えました。

リレーは良いバトンわたしで勝つ事が出来ました。大白熱でも面白かったです。パトンわたしの練習がむだにならなくて良かったです。

今年の運動会は弟も参加してとってかわいかったです。つかれがいやされました。絶望的なじようきようでも、がんばればどうにかなるんだなと思えました。ふり返ると、どうして逆転できたんだろうと不思議に思いました。けれど、結果的に白組がゆう勝してとてもうれしかったです。

二学期で一番うれしかったといえるしゅん間でした。

このしゅん間を味わうことが出来たので、暑い中がなばって練習したかいがありました。